

私の
なんとかしなきゃ!

Vol. 1

PROFILE

1942年高知県出身。大学卒業後、66年日本テレビ入社。「アメリカ横断ウルトラクイズ」「ズームイン!!朝!」などに出演。91年フリーに転身。「ブロードキャスター」「いつみても波瀾万丈」など、数多くの番組の司会を担当している。これまでに、数多くの開発途上国取材。「なんとかしなきゃ!プロジェクト」著名人メンバー。

もう時間はない 今、なんとかしなきゃ!

福留 功男

エグゼクティブプロデューサー

FUKUTOME Norio



photo by Shinichi Kuno

この仕事を始めて約40年、取材で各地を歩き回っていると、世界を取り巻く自然環境が、ものすごい勢いで変化しているのを感じます。最近では、沖縄で捕れていた魚が、津軽海峡で見られるようになったり、沖縄のサンゴの破壊が進んでいたり。私たちの身近なところにも、その危機は迫っているのです。

世界に目を向けると、状況はさらに深刻です。ブラジルとマレーシアの熱帯雨林を取材した時は、思わず言葉を失いました。かつて豊かな生態系のすみかだった森が、アマゾンでは大豆畑に、ボルネオ島ではパームヤシになっていた。しかも、その原因は、私たち先進国の人間にあると一。あなたの食卓を見てください。そこにある大豆やパームオイルは、熱帯雨林の破壊の代償として生まれたものなのです。

このような現実があるにもかかわらず

ず、最近の日本人は、世界の問題にどんどん無関心になっているような気がして怖い。日々の生活が恵まれすぎていて、海の向こうにいる人の痛みや苦しみに鈍感になってはいないでしょうか。

そのような日本で、私ができることは何か。研究者の方々のように専門知識を持っているわけではありませんから、いかに現場をはいずり回り、そこで起きている“現実”を伝えていこうか。そして、視聴者に“何か”を感じてもらえる番組を作っていくことこそが、私たちメディアの人間の使命だと考えています。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」には、俳優、ミュージシャン、キャスター、スポーツ選手など、さまざまな分野の人が参加しています。でも私を含めてメンバー全員が、肩書きなんて関係なく“一人の人間として”できることを発信していきたいと思ってい

る。その中で、自分の得意分野を生かして、さらに何か貢献できる方法を模索しています。

日本も不景気で厳しい時代ですから、「なぜ国際協力?」と思うかもしれませんが、でも、一人一人の小さな心掛けが、アマゾンの森を救うことにつながるかもしれない。そのことに、早く気付いてください。また、今こうしている間も、途上国でたくさんの日本人が汗を流し、問題解決のために奮闘していることも忘れてはなりません。

「なんとかしなきゃ!」そう思った瞬間から、あなたのアクションは始まっています。世界のために、一緒に今できることをやってみましょう。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトを中心に、さまざまな国際協力のカタチを提案していきます。[なんとかしなきゃ.jp](http://nantokashi-kyo.jp)
詳しくはこちらから→